

昭和39年度秋季大会告示

1. 期日 11月18日(水), 19日(木), 20日(金)
2. 場所 福岡市天神町天神ビル11階ホール
3. 研究発表募集
 - 1) 締切: 9月15日(木)必着
 - 2) 申込先: 東京都千代田区大手町 気象庁予報部電子計算室気付 岸保勘三郎
または、東京都文京区大塚 東京教育大学理学部 吉野正敏
 - 3) 様式: かならず所定の用紙に記入すること。(天気 Vol. 11, No. 7に綴込) 用紙不足の場合は事務局または支部に請求されたい。
 - 4) 講演時間: 討論を含めて15分以内。
4. 予稿集刊行について
前回と同じ要領で予稿集を刊行します。予稿にはかならず研究結果を記載すること。原則として、予稿を提出しないものは講演できないことにしますから、講演申込者はかならず提出してください。なお、講演申込者には予稿用紙を送りますから、送付先を明記してください。
予稿提出先: 気象庁 測器課 竹内 清秀
期限: 9月10日(土)
5. 宿舍申込みについて
大会頃には福岡市内の宿舍予約が大変むずかしいので、予約の申込みを次のようにしたいと思います。
(a) 予約申込み先: 福岡市大濠一丁目 福岡管区气象台 山田調査課長宛
(b) 予約申込み締切日: 8月31日
(c) 宿舍は次のA. B. Cの三種類にわけて申込んで下さい。
A. 2,000~2,500円/日(個室)
B. 1,500円位/日
C. 500~1,000円/日(寮)

8月例会のおしらせ

- 主 題: 気象学史と気象教育
会 期: 昭和39年8月21日(金) 10時より
会 場: 気象庁内気象大学教室
- 講演題目
1. 高橋正吾(気象大学): 誤り易い気象力学の問題, 第1報(30分)
 2. 白岡久雄(気象庁): 戦後気象事業の一断面(20分)
 3. 渡辺次雄(明星大学): 科学の発展における神学の役割について(20分)
 4. 奥田 稔(気研): 気象災害の質的变化(20分)
 5. 根本順吉(気象庁): "近世気象学" 以前気象の学書(20分)
 6. 渡辺和夫(気研): 気象衛星のあゆみ(20分) シンポジウム「三沢勝衛の評価を中心として」
話題提供者
吉野正敏(東京教育大)
荒井隆夫(気象庁)
百瀬俊二(気象庁)
根本順吉(気象庁)
司会者
奥田 稔(気研)

9月 月例会講演申込

- 主 題: 生気候
会 期: 9月
会 場: 京都市
申込先: 東京都杉並区馬橋4の499 気象研究所
神山恵三

10月 月例会講演申込

- 主 題: 気象災害
会 期: 10月23日(金)
会 場: 気象庁第1会議室
申込先: 東京都杉並区馬橋4の499 気象研究所
奥田 稔

- 主 題: 気象統計
会 期: 10月30日(金)
会 場: 気象庁
申込先: 東京都杉並区馬橋4の499 気象研究所
小沢 正

- 主 題: 水気圧(蒸発散)
会 期: 10月16日(金)
会 場: 気象庁予報部会議室
申込先: 東京都千代田区大手町 気象庁 予報部
石原健二

(10月例会の講演申込切は8月31日です)